

みつけよう いろいろな **エコ**

あだち再生館だより

4

No.129 | 2023

古布で作るペアうさぎ

初心者も経験者も楽しく作れます



5 / 20 土

14:00 ~ 16:00

講座の詳細な内容は3面をご覧ください

施設ご利用のみなさまへ

- 体調不良の方は来館をご遠慮ください。
- 入退館時に手指の消毒をお願いいたします。
- 来館時のマスク着用は、個人の判断に委ねます。
- 入館時に非接触型体温計で体温測定をいたします。

環境図書コーナー

わたしたちの暮らしは世界とつながっている 持続可能な地球社会をつくる (千倉書房)

著 谷本寛治 絵 さくらいともか



私たちが日々使っている“モノ”はどのようにつくり、捨てられた後どうなるのかと問いかけ、食料、衣服、スマートフォン、パーム油などを例に仕組みを探ります。資源を浪費する生産と廃棄、安価を担保する児童労働や安全軽視を止め、だれも犠牲にしない循環型社会を構築するための方法を考える本です。

調べようごみと資源2

紙・牛乳パック・布 (小峰書店)

監修 松藤敏彦 文 大角修



繊維からできている点で似ている紙と布。その作り方から各種製品、リサイクルの方法を豊富な写真とわかりやすい図で紹介する、調べ学習に最適な1冊です。なかなか目にするのできない工場の様子や、リサイクルしやすい素材とそうでない素材の説明など、資源を無駄にしないために私たちに何が出来るかが分かります。

vol.13 環境まめちしき

去年買った服は何着ですか？ 服にまつわる数字について

暖かくなり、衣替えの時期となりました。春を前に筆筒から取り出される服、冬を待ち仕舞われる服、手放される服。服の運命は様々ですが、皆さんは去年購入した服の数を思い出せるでしょうか。

経済産業省の調査によると、1人当たりの衣服の消費・利用状況の平均は、購入枚数約18枚、手放す服約12枚、着用されない服25枚。手放す衣服の66%が廃棄となっています。手放す服より買う服が多く、着ていない服はさらに多い。リユース・リサイクルは3割程度。そのうちリサイクルは14%です。衣服は化学繊維や天然繊維が混ざっており、絨毯の下地や住宅の断熱材など、肌触りなどを問わない再利用法が行われてきました。

しかし、現在この状況に変化が表れはじめました。これまで原材料に戻すリサイクルが難しかったポリエステルを、分子にまで分解して糸を紡ぎ、新たに衣類を作る取り組みが行われているのです。

また民間の企業では、様々な店舗で古着回収サービスを設け、リサイクルを勧める動きが起っています。足立区では、北千住マルイの店舗内にあるサカゼンとTHE NORTH FACEが衣類の回収事業(※)を行っていますので、利用しなくなった衣類はリサイクルしましょう。

※販売商品以外の衣類も回収しています。詳しくは各店舗にお問い合わせください。



出典：①経済産業省 サステナブルファッション



環境・リサイクル講座

2023/4/30
～ 5/21

» 講座のお申し込み方法

申込先	足立区リサイクルセンター あだち再生館 〒120-0011 足立区中央本町 2-9-1 [TEL] 03-3880-9800 [FAX] 03-3880-9801
申込方法	窓口・電話・ファックス（重複無効） 必要事項 住所・氏名・電話番号・希望講座名
申込開始	令和5年4月11日（火）9:00～ 定員に達した場合は、キャンセル待ちとなります。

※講座の詳細は、あだち再生館までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、一部講座が内容変更または開催中止になる場合があります。



12 つくる責任 つかう責任
牛乳パックでオリジナル電車を作り、走らせよう！
4/30（日）14:00～16:00

牛乳パックを使って色塗りのオリジナル電車を作成し、レールの上で走らせます。古紙のリサイクルについても学びます。

対象 小学生とその保護者 **定員** 8組 **参加費** 500円
持ち物 牛乳パック（大）1本、筆記用具、
申込時に電車の型紙を提供。好みの色に塗り持参下さい。
講師 NPO ナナツホシ 代表 本多長利
会場 あだち再生館 工房室・リサイクル学習室



12 つくる責任 つかう責任
天然石で作るシルバーアクセサリー
5/13（土）10:00～12:00

天然石を使って、ピアスもしくはイヤークラフを作ります。また、家電製品や工業製品の廃棄物を「都市鉱山」と呼び、金属を取り出すことについて学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 8名 **参加費** 1000円
持ち物 筆記用具
講師 みんなの工房 五十嵐秀子
会場 あだち再生館 リサイクル学習室



12 つくる責任 つかう責任
古布で作るペアうさぎ【選択式】
5/20（土）14:00～16:00

古布で小さな2匹のうさぎの飾りを作ります。選択制講座のため、応募時にどちらかのコースをお選びください。また、古布のリユースについても学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 10名
講師 再生館協力員 白倉正代
会場 あだち再生館 リサイクル学習室

■かんたんコース（講師が布地を用意します）

参加費 ▶ 800円
持ち物 ▶ ハサミ、ピンセット、筆記用具

■チャレンジコース（自分で布地を用意します）

参加費 ▶ 無料
持ち物 ▶ 無地の薄めの布地を2枚
（縫い代0.5cm幅を含めて8cm×13.5cm）、
柄違いの薄めの布地を2枚
（縫い代0.5cm幅を含めて8cm×13.5cm）
白色の薄めの布地を2枚（直径5cmの円の形）、
無地の布と同じ色の糸（絹糸推奨）、赤色の糸（絹糸推奨）、
手芸用ペレット（25g）もしくは綿、リボンを通した小さな鈴、
裁縫道具、ハサミ、ピンセット、筆記用具



12 つくる責任 つかう責任
近代金継ぎ
5/21（日）14:00～16:00

割れたり、欠けたりした陶磁器などを元通りに使えるように修復する、金継ぎを体験します。物を捨てないで、大切に使い続けることを学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 5名 **参加費** 1000円
持ち物 エプロン、2～3に割れた陶器と欠けた器を各1個
講師 書道家・柔道家・日本文化財漆協会会員 狐塚仁宏
会場 あだち再生館 リサイクル学習室

お知らせ

■あだち再生館が移転します！

令和5年9月末日をもって現在のあだち再生館を閉館し、千住の「学びピア21」に移転します。詳細は、後日改めてお知らせいたします。

■おもちゃトレードの終了について

毎月第2日曜日に実施してまいりましたおもちゃトレードは7月9日（日）をもって終了いたします。5月からはポイントカードお持ちの利用者にポイント保有数を倍増して、おもちゃを提供いたします。詳しくは4面をご覧ください。



フードドライブ Food Drive

使い切れない食品をお持ちください!



あだち再生館では、
フードドライブ（未利用食品の回収）
を実施しています。

令和元年度足立区の家庭から出される燃やすごみの中は、**3.6%**の未利用食品が混ざっていました。

これを年間のごみの量に換算すると、**約4,500t**の未利用食品が捨てられていたことになります。



お持ちいただいた食品は、NPO 活動支援センターやフードバンクを通して、必要とされる団体等にお届けしています。
※対象となる食品などについては、お問い合わせいただく、区のHPでご確認ください。

[詳細はこちら](#)



令和3年度 /

集まった食品ランキング@あだち再生館

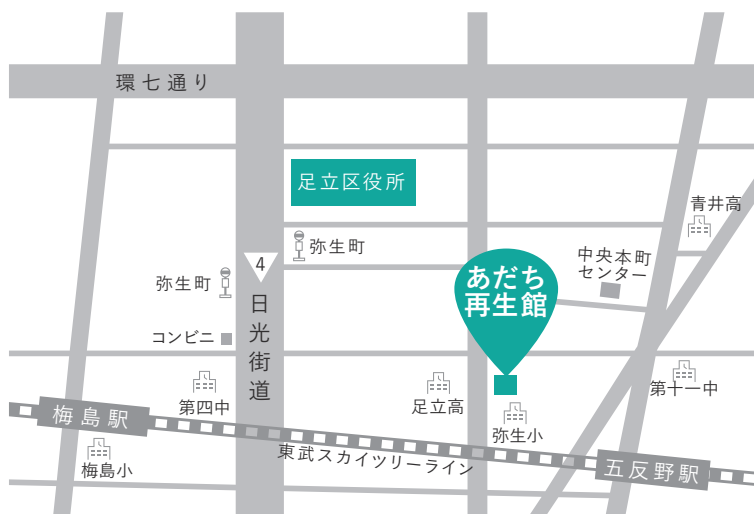
- 1位 レトルト食品（おかゆ、丼の具など）
- 2位 お菓子（チョコレート、スナック菓子など）
- 3位 インスタント食品（カップ麺、即席味噌汁など）

Thank you! ♪



アクセスマップ

Access Map



- ・東武スカイツリーライン「五反野駅」より徒歩10分
「梅島駅」より徒歩15分
 - ・「北千住駅」より都営バス北47系統「弥生町」下車徒歩5分
- ※駐車場はございません。車での来館はご遠慮ください。



インフォメーション Information

おもちゃ トレードセンター

5月14日(日) 開催します。

毎月第2日曜日 10:00 ~ 16:00

お知らせ

5月14日からのおもちゃ持参者及びポイント保有者のポイントを倍増します。

倍増されたポイント数まで持ち帰れます。但し、7月9日の最終日は、おもちゃの受入れは行いません。

おもトレの流れ



電気、電池、ぜんまいで動く使わないおもちゃをお持ちください。



おもちゃの状態に応じてポイントが貰えます。



貯めたポイントで好きなおもちゃと交換できます。

壊れたおもちゃはトイドクターが修理・再生します。捨てずに相談にいらしてください。

あだち再生館だより 2023年4月号

発行 足立区リサイクルセンター
あだち再生館

住所：〒120-0011 足立区中央本町 2-9-1

電話：03-3880-9800

F A X：03-3880-9801

営業時間：午前9時～午後5時

休館日：4月3日・10日・17日・24日・29日

※毎週月曜日・祝日休館

（月曜日が祝日の時は火曜日も休館）